



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2009 / 2010)

- 国際会長 「一つとなる力」
- アジア会長 「一つとなる力」
- 西日本区理事 「すべてのいのちを大切に」
- 中部部長 「ワイズの理念を胸に自信をもって活動しよう」
- 名古屋会長 「広げよう新しい仲間 みんなで目指そう出席率の向上!!」

2009 ~ 2010 11 月 号 (No753)

11月例会プログラム

と き:2009年11月10日(火) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.
 ところ:名古屋YMCA

- 司 会 小尾 雅彦君
- 開会宣言 会 長 深谷 聡君
- ワイズソング
- 聖書朗読・祈禱 西村 清君
- 食 事
- プログラム 卓話 テーマ『いろ』
- 講師 鷓飼 功氏
(カラーコーディネーター)
- 諸 報 告
- ハッピーバースデー
- ドライバースピーチ 川口 恵さん
- 讃 美 歌 240
- 閉会宣言 会 長 深谷 聡君

韓国ソウル聖岩クラブとのIBC

長 井 潤

2月に私が入院していた時、妻がヤンさんからのメールを持ってきました。それはクラブメンバー宛のメールのCCで「長井が入院しているので見舞いに行きたい」というものでした。あわてて「もうすぐに退院するのでご遠慮を」と電話したのですが、退院後に「今有志を募っているので来週日本へ行く」とのメールが来ました。「ち・ちょっと待ってください。それではクラブにも迷惑がかかるので困る」の返信に「では、日帰りで行くから迷惑はかけない」との返事がきました。流石に私も困り「経過が良いので必ずこちらから行くので待っていて下さい」と返事して一応落ち着いたのですが、ペクさんからはご自身が腎臓癌で、左の腎臓を摘出までしたのに、お見舞いを送って下さいました。

ところが実は正直なところ、私は「もう生きて訪韓することは無理だ」と思っていました。と申しますのは、この時点で私の生存率は医学的に、一年後20パーセント以下だったのです。

しかし神様は私のような小さな者にも「奇跡」を下さいました。お医者様を含めて、あらゆる人が驚いているように、私はお見かけ通り元気です(見えます)しかし、予断と油断はできません。

そしてまさかの念願が叶い、10月6日から、11月に結婚する娘も一緒に、最後の家族旅行を兼ねて訪韓いたしました。水原城の城壁を歩くこともできましたし、抗癌効果の高い薬草を日本とは比較にならない価格で購入もできました。

しかし、何より多くの聖岩クラブのメン・メネットとお会いで

第2例会

と き:2009年11月17日(火)7:00p.m. ~ 8:30p.m.
 ところ:名古屋YMCA
 プログラム:12月クリスマス特別例会について
 その他

- 会 長 深谷 聡 書 記 渡辺真悟
- 副 会 長 水谷 治 長井 潤 五島八郎
- プリテン 久保田 平野 伊左治 会 計 川口 恵 塩田 保

10月クラブ出席		B F		10月個人出席										第 一 例 会 (10/13)		
在 籍	29名	10月	切手	200pt	青 木	木 本	○	谷 川	○	第 一 例 会 (10/13) メネット 尾関 加藤(朱) 西村	メネット会 (10/17) 尾関 加藤(朱) 伊左治 木本	○第1	○第2	◎第1・第2	Mメーキャップ	
第 1 例 会	21名		現金	0pt	飯 田	○	久保田	◎	寺 田							○
メネット	3名		小計	200pt	伊左治	○	黒 川	◎	長 井							○
第 2 例 会	13名	累 計 (7/10月)	切手	820pt	岩 田	○	五 島	◎	成 瀬	○	◎第1・第2	Mメーキャップ				
メネット	0名		現金	0pt	尾 関	○	小 谷	◎	西 村	◎						
ゲスト・ピッサー	0名		小計	820pt	小 尾	◎	坂 上	◎	平 野	○						
メーキャップ	0名	累計	現金	0pt	加藤明	◎	塩 田	◎	深 谷	◎	◎第1・第2	Mメーキャップ				
出 席 率	85%	累計	820pt	加藤晃	○	鈴 木	◎	功	○							
メ ネット 会	4名	累計	820pt	川 口	◎	相 馬	◎	水 谷	○							
						川 本	◎	高 森	◎							

きたことが大きな喜びでした。私たちの為に例会日を変更して下さい、例会での新メンバーの牧師さんのメッセージは、私のためと言ってもよい内容でした。そして、私のつたないハンゲルでの挨拶に涙して下さいる方までいらっしゃいました。

私が韓国でお受けした、数々の真心はとてここで伝え切れません。このようなIBCクラブが全国他にあるでしょうか？

30余年間の親密な交流の歴史の重さを改めて実感いたしました。

私の我儘を受け入れて下さり、この度の、ある意味「私的」とも言える訪韓を、クラブ公式訪問にして下さいました皆様に、心から感謝申し上げます（チンシムロ カムサ マルス トリムニダ）



「聖岩クラブ例会で、崔会長にクラブ訪問記念品を贈呈する、長井君」

■■■ 第1例会レポート ■■■

とき 2009年10月13日（火）pm6：30～pm8:30
ところ 名古屋 YMCA

尾関明メンの司会、深谷聡会長の開会宣言に始まり、長井潤メンの聖書朗読・祈祷で食事にはいりました。今回はオークションの前に会長報告そして長井メンの韓国旅行で元気に行って帰ってこられたこと、また韓国聖岩クラブのメンバーの状況なども報告されました。

オークションでは、深谷会長・久保田メン・谷川メンの進行により内覧会が始められました。多数揃った鍋のオークションに始まり、タオルやお酒、陶器、珈琲など売られていくのでした。「あれ、これ去年見たぞ、また、どこかのバザーであったのかな、持ってきたのと同じかな」といった様々な言葉が飛び交っている会場でした。一人〇〇〇円目標という

言葉で何か買おうと迷っている姿もみられました。〔〇〇円と言う声の傍から〇〇円と言う声を聞く〕とあれ夫婦でせり上げている様子となり爆笑するなど楽しい雰囲気がありました。いつも何を買おうと悩むが、「メネットが家にあるもの買わないで、余分なもの買わないで、持って行った品物買わないで、〇〇は買ってくるように」という言葉がずしりと心に響いていました。なかなか声をかけるタイミングがとれなく、深谷会長や谷川メンの品物の説明の言葉ややり取りをおもしろく聞いて楽しい雰囲気を味わってしまいました。これだというのをせり落とそうとしましたが少しの差でダメだったり、誰もせり上げることなくそのままの値段で落ちるなど楽しくオークションを味わう事ができました。今回の売り上げは62,900円と言う合計ができました。この温かい、楽しい雰囲気の続きとなりハッピーバースデーの全員合唱で、可愛いお花のプレゼントにより終わる事が出来感謝の例会となりました。（飯田和也）

■■■ 第2例会レポート ■■■

とき 10月20日（火）PM7：00～8：30
ところ 名古屋 YMCA

- 1 第1例会オークションの結果報告 ￥62,900
- 2㊦ 10 / 25（日）中部主催 EMC セミナーの件
出席予定者。川本・加藤（明）・長井・西村・渡辺。報告者は川本とする。
- ㊦ 11 / 1（土）YMCA 南山バザーの件、年々不足気味の献品・献金にご協力を是非多くのワイズに参加を要請する。
- ㊦ 11 / 14（土）第16回チャリティーランの件
当クラブとしては例年通り支援と奉仕を行うことを確認。
- ㊦ 11 / 23（祝）第3回チャリティーゴルフの件
会場・中部国際ゴルフ場 当クラブ参加予定者。小尾・尾関・塩田・深谷・川本・渡辺 他参加者募集中。
- 3 クラブ例会開催日変更に関する件。10月例会のアンケート未提出者は11月第1例会迄に提出。11月第2例

- 会にて方向性を協議・決定する。
- 4 横浜国際大会の申込要項を11月第1例会にて配布。参加のPRと共に早期登録を促す。
- 5 11月第1例会プログラムの件
卓話 鶴飼 功氏（元南山YMCAリーダー。カラーコーディネーター）
テーマ「いろ」
- 6 12月クリスマス特別例会の件
とき 12月5日（土）ところ エスペランサ（昨年同様、名古屋ターミナル9F）
プログラム内容は11月第2例会にて決定する。
- 7 1月例会は卓話。小尾メンの紹介で「香（こう）」に造詣の深い方が候補としてあがった。先方の都合が良ければこの方向で行く予定。
- 8 2010年4月号プリテンの件
通算「758号」を迎える。語呂合わせで「ナゴヤ号」となり63年間継続したクラブの軌跡等を記念する特別号を計画。これに相応しい内容の案をメンバー諸氏のご意見を伺いたい。

（川本龍資）

【7月～10月例会出席状況】

			7月		8月		9月		10月	
			第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2
		日付	14	21	18	11	8	15	13	20
1	青木栄一	美和子	正会員							
2	飯田和也	純子	正会員	○					○	
3	伊左治正文	クミ子	正会員	○		○	○		○	
4	岩田鑣一	昌子	正会員	○		○	○			○
5	尾関 明	静枝	正会員	○		○	○		○	
6	小尾雅彦	昌代	正会員	○		○	○	○	○	○
7	加藤明宏	朱美	正会員	○		○	○	○	○	○
8	加藤 晃	邦子	正会員						○	
9	川口 恵		正会員	○		○		○	○	○
10	川本龍資	清美	正会員	○	○	○	○	○	○	○
11	木本精之助	洋子	正会員	○		○		○	○	
12	久保田啓	美代子	正会員		○		○	○	○	○
13	黒川博英	勝子	正会員							
14	五島八郎	美代	正会員	○		○	○	○	○	○
15	小谷治郎	充子	正会員		○		○		○	
16	坂上洋平		連絡主事	○			○	○	○	○
17	塩田 保		正会員	○			○		○	

			7月		8月		9月		10月		
			第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2	
		日付	14	21	18	11	8	15	13	20	
18	相馬静香		正会員	○		○	○		○	○	
19	高森敏久	敏子	正会員	○		○					
20	谷川 修	智子	正会員			○	○	○	○		
21	寺田仁計	純子	正会員	○		○	○	○	○		
22	長井 潤	衣世	正会員	○	○	○	○	○	○		
23	成瀬晃三		正会員								
24	西村 清	牧子	正会員	○		○	○	○	○	○	
25	平野実郎	愛子	正会員	○	○	○	○	○		○	
26	深谷 聡	麻奈	正会員	○	○	○	○	○	○	○	
27	水谷 治	道子	正会員	○		○		○		○	
28	渡辺真悟		正会員	○	○	○	○	○	○	○	
29	鈴木武二	侯子	功労会員								
30	深谷（朗）		特別枠外								
			%	75		57		75		75	
	ゲスト			1				2			
				21	7	16	16	21	10	21	13

メネットの出席

今月の聖句

イエスは言われた。「皇帝のものは皇帝に、神のものは神にかえしなさい。」

マルコによる福音書 12：17

西村 清

当時、ユダヤはローマの支配を受けていた。神から選ばれた、選民ユダヤが異邦人、ローマに支配されていることに反発し、快く思っていなかった。そのような中で、イエスを殺そうと考えていたファリサイ派やヘロデ党の人から質問されます。ローマに持っていかれる税金を納めるべきでしょうか。納めるべきでないでしょうか。

これには畏が仕掛けられていた。納めよと言えば、一般民衆の反感をかうことになる。また納めるなといえば、ローマ帝国への反逆者として、ただちに訴えて死刑に処することが出来ると、彼らは考えたのです。

そこでイエスは今月の聖句の言葉をいわれたのです。皇帝の肖像と銘を刻んだ貨幣（当時の流通貨幣）を、これもユダヤ人にとっては我慢ならないことでしたが、皇帝に返す、つ

まり税金を納めなさい。しかし同時に神のものは神に返せ、とおっしゃったのです。貨幣は皇帝の肖像が刻まれています。我々人間には神の像が刻まれているというのです。創世記には、神は人を神に似せて造られたとあります。神の像が刻まれているのは我々人間そのものだというのです。人間は皆神の姿を宿しているのです。大切なことは、この私たち自身を神に返す、すなわち自分の存在が神のものであって、自分のものでないことをきちんとわきまえるということです。しかも神が造られたのは私一人ではなく、すべての人間もです。

したがって、神に造られた一人ひとりをかけがえのない者として愛し、時には自身を犠牲にしても、隣人のために愛を注ぐことが求められているのです。神様が我々人間の罪のために十字架にかかってまで、われわれを愛してくださっているのです。「イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。」(ヨハネの手紙一3章16節)ということばの通りです。このことを、「神のものは神の返す」と述べられているのです。

『フィズメンの賢い話』(No165)

『家と土台』

「台風で家が壊れたり、流されたりするとたいへんだね。「そうだよ。家が建っている場所にもよるけど、その家の土台が大きく影響するのだろうね。「聖書には家の土台がたとえとして書かれているよ。イエスは、岩を土台として建てた家と砂を土台として建てた家と比較して、台風が来ると、砂を土台として建てた家は、すぐ倒れてしまうけど、岩を土台として建てた家は、倒れな

ったそうだ。そして、岩を土台として建てた家は、イエスの教えを聞いて実行する人をたとえていて、砂を土台として建てた家は、イエスの教えを聞いても実行しない人を譬えているのだよ。だから、イエスは教えを聞いたら、必ず実行しなければならないと言われているのだよ。そうしないと、砂を土台として建てた家のようにすぐに流されてしまうよ。「そうだね。良い教えを聞いたら、聞くだけではなく、それを実行しなければならないのだね」。

(寺田仁計)

